

授業科目 解剖学 I

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	理学・作業
山 田 まりえ		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：G10】					
解剖学Ⅰでは、人体の基本的構造を全体的に理解する。特に運動器、神経系以外の器官・組織系、内臓系（消化器・呼吸器・尿生殖器）、循環器系、感覚器系、内分泌系についてそれぞれの形態・構造を理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。 2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を説明できる。 3. 種々の組織の分類とその特性を概説できる。 4. 解剖学的姿勢を説明し、解剖学用語を適切に使える。 5. 消化器系を構成する器官、その付属器の名称、位置を説明できる。 6. 鼻腔から肺胞に至る気道を構成する各器官の名称、位置を説明できる。 7. 尿生殖器系を構成する器官の名称、位置ならびに簡単な機能を説明できる。 8. 主な内分泌腺の名称と位置、分泌されるホルモンの名称を言える。 9. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を概説できる。 10. 特殊感覚を司る各器官の名称、位置ならびに簡単な作用を概説できる。 11. 口腔・顎顔面部の発生の概略を理解し、説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	解剖学序論	解剖学とは	解剖学用語	1, 4	講義
2	組織学	組織学総論	細胞と四大組織	2, 3	講義
3	内臓学- 1	消化器系、呼吸器系		5, 6	講義
4	内臓学- 2	尿生殖器系、内分泌系		7, 8	講義
5	循環器系- 1	心臓		9	講義
6	循環器系- 2	大循環と小循環		9	講義
7	感覚器系	味覚器、視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、外皮		10	講義
8	人の発生	頭頸部・顎顔面部の発生		11	講義
【使用図書】					
教科書 (必ず購入する書籍)	<書名>		<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の為の解剖学		渡辺 正仁	廣川書店	2000・5,500円
参考書	人体解剖学		藤田恒太郎	南江堂	2000・9,233円
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席状況・態度（遅刻、私語、居眠り等）、期末試験の総合評価			短期間で広範囲を勉強します。欠席をせず、復習を欠かさないことが重要です。		